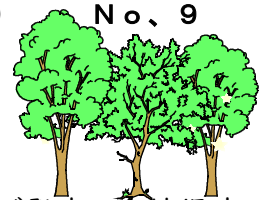


中原通信

文責 増永 善久



◎ぎんなん祭より

11月15日(土)に「ぎんなん祭」を開催しました。プログラムは、各学級によるステージ発表と全校児童による合奏・合唱の2本立てです。

前半は、各学級のステージ発表です。1・2年生は、「くじらぐも だいすき なかばる」の題で、地域学習や友だちの家の訪問で学んだことを発表し、地域への感謝の気持ちなどを表現していました。3・4年生は、「かげおくりと一つの花」の題で、国語の授業で学んだことをもとに、戦争は家族を奪い、多くの命を奪う悲劇であることを演じ、戦争の悲惨さや平和の尊さ、未来への希望を伝えました。5・6年生は、「感謝・つながり・誇り」の題で、万博研修や長崎での平和学習、水俣で学んだことを万博のパビリオンを見学する形で演じ、平和の尊さ、環境の大切さ、南小国町を誇りに思う気持ちなどを伝えました。

後半は、全校児童による合奏・合唱です。合奏では、一人一人が調和を意識して「ミッキーマウスマーチ」「アンダー・ザ・シー」「星に願いを」の3曲を演奏しました。合唱は、「小さな世界」を手話を取り入れながら、大きな声で歌い上げました。

ぎんなん祭で子どもたちは、保護者や地域の皆さんに支えられて学んだこと、体験してきたことを発表してくれました。メジャーリーグ(野球)のワールドシリーズでMVPを獲得した山本投手が試合後のインタビューで「プロで2日連続で登板する経験は初めてだった、新しい自分というのが発見できた。」と話しています。学んだり、体験したり、発表したりするなかで、子どもたちが、新しい自分の発見「自分には、こういう一面があった」と感じてくれていたならうれしいです。



1・2年生



3・4年生



5・6年生



5・6年生



合奏



合唱

◎育樹祭が行われました。

阿蘇森づくり協議会、南小国町の主催で、11月27日(木)に本校で「令和7年度阿蘇地域育樹祭」が行われました。全校児童は、中原みどりの少年団の団員として式典と育樹活動に参加しました。式典では、みどりの少年団を代表して6年生2名が「誓いの言葉」を読み上げてくれました。育樹活動では、林業や育樹について話を聞いた後、学校から5分程度の距離にある町有林で、実際に枝打ち体験をしました。また、体験後、3・4年生は、木工体験(本たて作成)を行いました。



枝打ち体験

※保護者の皆さまへ。

12月7日(日)のきよら人権デーでは、5・6年生が発表します。また、9日(火)には各学級で「お片付け講座」(保護者の皆さんの参観も可能です)を開催いたします。さらに、12日(金)には、持久走大会・親子クッキング・親子レクリエーション・SNS講座(ゲーム依存に関して)が予定されています。師走に入り、何かとお忙しい時期とは思いますが、よろしくお願いします。